

Monthly Report

2016年7月号

特集 駐車場内での注意事項

夏が近づき、レジャーなどで駐車場を使用する機会も多くなると思いますが、駐車場に入ると、やれやれ運転が終わったと気が抜けていませんか？

しかし、要注意！駐車場は思うほど安全な場所ではありません。平成25年に実施された日本損害保険協会東北支部モニタリング調査結果によると、保険取扱事故の3件に1件近くは駐車場で発生しているのです。そこで今回は特殊な場所、駐車場で陥り易い運転者の心理と、心理に対応した事故防止のポイントについてまとめてみました。



1. 駐車場内での心理状態

①油断が生じ易い

他の車も停車しているので、楽に走れると思いがちです。

しかし、実際には公道では基本的には同一方向に進行しているのに対して、駐車場では車両の動きが不規則で予測し難いことが多く、これが衝突事故の要因のひとつになっています。

また人が縦横無尽に歩き回っており、特に子供は背が低く車の陰に隠れやすいことから対人衝突を起こし易く、特に注意が必要です。

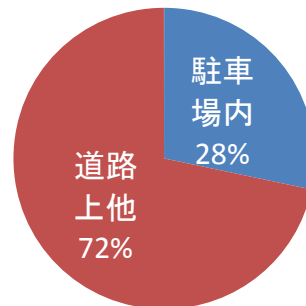
②駐車スペースを探すことに集中し易い

周りの車や人の動きなどを把握しないままの運転になりがちです。

かつ、早く駐車スペースに入りたい、早く出たいという、焦りや急ぎのあまり、安全確認がおろそかになり易いのです。

③後方に注意を集中するあまり、左右の側方間隔がおろそかになり易い。

図1 車両事故の割合*1



*1 「H25版 駐車場事故の実態」 p4

<http://www.sonpo.or.jp/archive/publish/traffic/pdf/0016/parking.pdf>

一般社団法人 日本損害保険協会東北支部
のデータを元に当社で作成

交通安全クイズ

道路に面した場所に入ろうとして歩道や路側帯を横切る場合、いかなる場合でも歩道若しくは路側帯手前で一時停止をして安全を確認する必要がある。○か×か。

*クイズ解答は、裏面下段に掲載しています。



2. 駐車場内での事故防止のポイント

駐車場での心理傾向を基にした事故防止のポイントとしては、次のようなことが考えられます。

① 駐車場内では油断しない

- ・場内は徐行運転とします
- ・走行順路はしっかり守りましょう
- ・一時停止ラインではきっちり停止し左右の安全確認をします

② 駐車スペースを探すことに集中しない

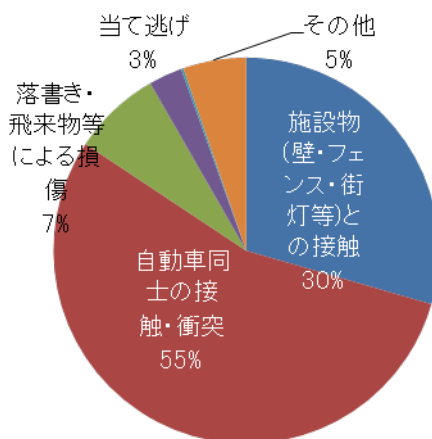
- ・駐車場所を探すことだけに注意を奪われず、他車や歩行者(特に子供)、自転車の動きに目を配りましょう

③ その他 (バックで入庫する場合)

- ・右側から入ると比較的入りやすいです
- ・ギヤを入れてすぐに動かず、一呼吸おいてから動き出すこと
- ・アクセルは踏まないこと(クリープ現象を利用、ブレーキで速度調整を)
- ・確認は目視とミラー両方でしっかりと実施しましょう
- ・後方重視ではなく左右の側方間隔にも注意を向けて下さい
- ・側方の安全に不安を感じる場合は、何回でも降りて直接目視確認をして下さい

駐車するまで運転は終わっていません。駐車場内ではスローペースで行動し、かつ四周にくまなく注意を向けることにより事故を遠ざけましょう。

図2 駐車場内事故の概要 *2



*2 「H25版 駐車場事故の実態」 p5
<http://www.sonpo.or.jp/archive/publish/traffic/pdf/0016/parking.pdf>
 一般社団法人 日本損害保険協会東北支部のデータを基に当社で作成

交通安全クイズ解答・解説



道路交通法第17条第2項は、「車両は、歩道等(歩道又は路側帯)に入る直前で一時停止し、かつ、歩行者の通行を妨げないようにしなければならない」と定めており、いかなる場合でも一時停止をする必要があります。



SOMPO ホールディングス
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
 ホームページ <http://www.sjnk.co.jp>

時間に余裕をもって、
「お・も・い・や・り」のある運転を!
みなさまの無事故を願っております。

エヌエスサービス(株) 一同